

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年07月24日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000101"/> 整理番号 <input type="text" value="11363"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	神経芽腫細胞に対するリョウキョウ由来ジアリルヘプタノイドの細胞周期止効果および分化誘導効果
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
適用製品	植物より抽出した構造決定化合物
目 的	小児悪性腫瘍のうち進行神経芽腫の予後は現在でも不良である(5年生存率約30%)。また、強力な化学療法を施行しても治療に抵抗して再発したり、強力な化学療法のために副作用が強く出現したりする。そこで、副作用がより少なく、より効果的な治療薬の開発が必要である。この目的にかなった治療薬の研究開発を行った。
技術概要	2つのジアリルヘプタノイドについての抗腫瘍活性とアポトーシス誘導効果はすでに出願済である。今回は同様に神経芽腫細胞培養株を用いて低濃度での効果を検索したところ、両化合物とも低濃度(10 <sup>-6</sup> M)でS期(DNA合成期)での細胞周期の停止とアポトーシス誘導の特徴であるsub-G1の増加が認められた。さらに、これらの化合物には10 <sup>-8</sup> Mという極めて低濃度で神経突起の伸長が認められた。 以上のことから、副作用の出現を最小限にとどめて、腫瘍をさらに自然萎縮させてしまう有効な治療薬になる可能性がある。

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp